

2019年度(令和元年度・第6期)事業報告

一般社団法人 全国コミュニティ財団

新規／継続	事業名	2018年度事業(参考)	本年度事業報告	実施日時	実施場所	収益
(1) コミュニティ財団や地域社会についての調査研究						0
新規	プロスポーツとの連携による地域社会の価値創造に関する研究		Jリーグとの意見交換を重ねた。	通年	東京など	0
(2) コミュニティ財団業務の改善についての研究企画						4,008,683
継続	第三者認証及び通報窓口の運営	ガイドラインのセルフチェックの普及と共に第三者による評価委員会設立を目指してその準備会の開催準備を行った。 また、遺贈寄付の推進をさらに図るために11地域において専門家やNPO向けの勉強会や研修を開催し、行政機関等も含めた推進コミュニティの形成を図った。 トヨタ財団助成事業	第三者認証の委員会での検討が終わり、仕組みが完成した。今後、運営を第三者に委託する形で実施を行う体制ができた。	4月～7月	全国各地	308,683
継続	バックオフィス支援		新設コミュニティ財団等のバックオフィス支援を行う事業を京都地域創造基金と連携して実施した。	通年	全国各地	3,700,000
(3) 関係団体、機関、官庁などに対する意見の開陳ならびに連絡						0
継続	各種政策への提言、ロビイング	引き続き、休眠預金未来構想プラットフォームに参画し、提言を行った。	税制及び休眠預金など関連の政策に対する情報の収集、ロビイング、要望書提出などにより必要な提言を行った。	通年	全国各地	0
(4) 会員の職員などに対する研修の実施ならびに会員の行う教育についての調査研究						308,683
継続	理事及び監事研修の実施	コミュニティ財団のプログラムオフィサーに必要な役割を、助成事業管理、案件形成、新領域開拓の3つに分け、それぞれ現地研修や座学研修により開催をした。新領域開拓は東京在住の地方出身者向けにセミナーを開催し32名の参加を得た。 日本財団助成事業	会員CFの理事及び監事向けの研修会を開催し、ノウハウの共有や相互研鑽を行う。	2回程度	東京など	308,683
(5) 会員相互が連携して実施する事業の企画ならびに実施						620,914
継続	コレクティブインパクトに関する実践	全国13地域にコレクティブインパクトのモデル事業を引き続き展開し、新しい課題解決の仕組みを構築した。 日本財団助成事業	休眠預金事業への申請を行ったが採択に至らなかった。	通年	全国3地域	0
新規	企業との協働による新しい寄付の仕組みづくり		いくつかの企業と災害などに関する保険を交えた寄付の仕組みについて検討を行った。	通年	全国	0
新規	災害時の寄付募集に関する体制構築		被災を受けた地域の会員コミュニティ財団が基金を設置する支援を行った。	9月～3月	福島、宮城、千葉(熊本)な	83,470
新規	新しいコミュニティ財団の立ち上げ支援		雲南市、泉北ニュータウン、奈良などでコミュニティ財団設立の支援を行った。	通年	島根、大阪、奈良等	537,444
継続	遺贈寄付の推進		全国レガシーギフト協会と連携し遺贈寄付に対する理解促進や相談対応に関する研修などを実施した。	通年	全国10地域	0
継続	寄付月間		日本ファンドレイジング協会などが展開する寄付月間の取り組みに参画し、寄付に関する継月や推進を行った。	通年	各会員地域	0
(6) 会員相互の親交、連絡、情報共有						177,000
継続	年次大会及びブロック会議の開催	コレクティブインパクトの取り組み共有と共に、SDGs達成のために地方でコミュニティ財団が担う役割をテーマに対談などを行い、71名の参加を得た。 日本財団助成事業	あいちコミュニティ財団をパートナーとして日本福祉大学東海キャンパスで開催し66名の参加を得た。	2月8日	日本福祉大学東海キャンパス	177,000
(7) 前各号に掲げる事業に付帯する又は公益に関連する事業						0
継続	ウェブサイトの運営	コミュニティ財団の紹介やSDGsに関する取り組みなどを紹介するウェブサイトを作成した。	CFのつくり方などのノウハウやSDGsに関連してCFや支援先の取り組みを紹介するウェブサイトを運営した。	通年	https://www.cf-japan.org/	0
						5,115,280